

日本百貨店協会 提出資料

百貨店業界におけるパート労働者の現状

平成19年1月22日

日本百貨店協会

1. パート労働者の現状について

(1) パート労働者の人数：

日本百貨店協会が実施した平成17年の労働実態調査（98社中86社、回答率88%）

正社員 67,605名 (58.4)	パート 29.6% (女性28.3%・男性1.3%)	34,243人
非正社員 48,157名 (41.6)	契約社員 12.0% (女性9.9%・男性2.1%)	13,914人
合計 115,762名 (100)	計 41.6% (女性38.2%・男性3.4%)	48,157人

- 全会員店98社推計では、非正社員5.5万人、うちパート労働者が4万、契約社員が1.5万。
- パート労働者の5割程度、契約社員の殆どは、既に厚生年金の適用を受けている。
 - ・都市百貨店では、週27～28時間以上、地方百貨店では、30時間以上が適用対象。
- 適用対象を20時間以上とすると、その対象者は、2万人のパート労働者となる。

(2) パート労働者の特性、年齢、勤続年数：

- ① 95%以上が女性、その殆どが主婦パート（配偶者の扶養、3号被保険者）。
- ② 正社員の平均年齢40歳に比べ、パート労働者は45歳と高い。（平均年齢50歳以上の企業もある）
 - パート労働者の年齢構成は、店舗の立地（都心店と郊外・地方店）によって若干異なるが、40歳から60歳が60%～85%を占める。通勤時間等の影響もあり、郊外店・地方店ほど年齢が高い。20歳台半ばから40歳までの層は、20%前後を占めるが、都心店に多い。
 - 厚生年金の適用を受けていないパート労働者の年齢層は比較的高い。（50歳～60歳台中心）
- ③ パート労働者の業界全体の平均勤続年数は、6.9年。（大手百貨店では、5年程度）
 - 勤続年数も、店舗の立地によって若干異なるが、都心店ほど短い。
 - 厚生年金の適用を受けていないパート労働者ほど、勤続年数が長い（5年以上）あるが、労働時間自体は短い。なお、20年以上勤めるパート労働者は、1%程度に過ぎない。

(3) パート労働者の労働時間：

労働時間数は、概ね次のとおりであるが、店舗の立地によってかなり幅がある。都心店に比べ、郊外店・地方店の方が短く、勤続年数は長い傾向にあり、これは主婦パートの特徴を表している。

30時間以上	40～45%
25時間～30時間未満	20～30%
20時間～25時間未満	25～35%
20時間未満	1～5%

(4) パート労働者の賃金：

厚生年金の適用を受けていないパート労働者の賃金は、扶養の範囲内（103万円）とするため、結果として月収8万円台が多い。

2. パート労働者の厚生年金適用に伴う影響試算について

労働時間が正社員の4分の3（27時間～30時間）以上が、20時間以上に拡大した場合の影響試算

2万人×厚生年金事業主負担86,100円（一人当たり）	= 17.2億円
2万人×健康保険事業主負担48,216円（一人当たり）	= 9.6億円
1.5万人×介護保険事業主負担6,708円（一人当たり）	= 1.0億円
合計	27.8億円